

中部横断自動車道(新清水 JCT～増穂 IC)
第 2 回連絡調整会議の結果等についての知事コメント

平成28年11月22日

- 中部横断自動車道（新清水 JCT～増穂 IC）の開通時期等については、これまであらゆる機会を通じて早期提示を求めてきましたが、本日事業者より精査結果が示されました。
- 開通時期の1～2年の延期、及び、新直轄区間における事業費の増額については、想定以上に脆い地盤でのトンネル掘削など難工事に伴う技術的な理由であることから、理解するところであります。
- 会議において、県から事業者に対して、コスト縮減を図りつつ、難工事であっても、災害に強い、安全・安心な信頼性の高い道路づくりと、一日も早い全線開通を強く要請いたしました。
- 一方、今回、開通時期が明らかになったことから、高速道路の効果を最大限に発揮すべく、開通後を見据えた、中部横断自動車道を活用した地域づくりについても、沿線自治体とともにしっかりと取り組んで参ります。
- 今後も、県として可能な協力は引き続き行うとともに、沿線自治体と連携しながら事業者に協力し、一日も早い全線開通に向け努力して参ります。

山梨県知事 後藤 斎